

勝高同窓会報

昭和53年頃



2014年9月
第24号



ご挨拶

勝山高等学校長 道下 賢祐



同窓会の会員の皆様には、各界、各分野で御活躍のことをお喜び申上げます。

また、日ごろから本校の教育振興と教育環境の整備等に格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。特に、平成22年度から本校の部活動振興のために多額の御寄付を毎年いただきておりますこと、誠にありがとうございます。

さて、本校の概況を申し上げますと、進路面では、今春の国公立大学の合格者は36名でした。内訳としては、大阪大学、神戸大学、名古屋大学、医学部医学科というような難関大学、金沢大学、福井大学、福井県立大学というような地元大学をはじめとした大学となっています。私立大学では早稲田大学をはじめ多数の大学に合格しています。また、就職も、J.R.、地元企業などから100%の内定をもらっています。

部活動面では、部活動への加入率が非常に高く多くの生徒が熱心に活動しています。運動部では、全国トップクラスのバドミントン、スキーはもちろん、バレーボール、陸上をはじめとしてどの部も

頑張っています。御存じかと思いますが、バドミントン部はインターハイで団体3位、シングルスで全国優勝者を出しています。スキー部においても、インターハイのクロスカントリーにおいて全国準優勝者を出しています。バドミントン部では、日本代表選手の山口茜さんが在学しており期待します。ヨネックスオーブン・ジャパン、世界ジュニア選手権など全国大会でも優勝しています。

一方、文化部においても、大同窓会でもその演奏をお聞きいただいた吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクール福井県予選、中部日本吹奏楽コンクール福井県予選で金賞を受賞しました。日本文化部は福井県代表として全国高等学校総合文化祭に出場しました。

このような成果をあげることができたのも、同窓生の皆様方の御支援の賜と感謝しております。

最後に、皆様の後輩は皆様が築き上げた伝統を守るために日々頑張っております。そして、本校では、これからも、勝山市唯一の高校としてますます地域に信頼され、期待にこたえられるような学校として次世代を担う人材を育成していきたいと思っております。

今後とも御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

六花、覚えてますか？

昭和41年に第1号が勝山高等学校生徒会が中心となり発刊されました。生徒たちの文化や運動面での活躍と結果、修学旅行の思い出、俳句や詩、クラブ活動、先生の学術的論文など、多様な内容で埋め尽くされていました。また、企業広告もありました。編集委員として活躍された方もたくさんいらっしゃいます。ここに一部紹介します。

手作りのよさ

一手芸部一

大切な食物

一食物部一

部活動紹介 第12集（昭和52年発行）

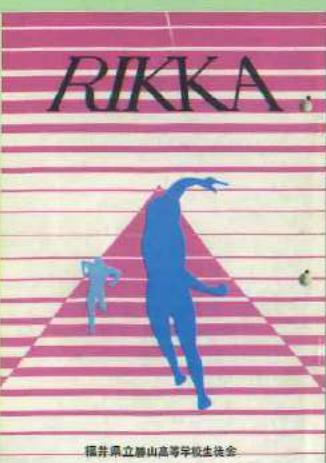


グラビア 第43集（平成20年発行） 恐竜エキスポアンケート 第36集（平成13年発行）

第三表(3)（感銘を受けた書名、著者名）

順位	一年	二年	三年
順位	書名	順位	書名
1	レ・ミゼラブル	1	戦争と和平
2	風と共に去りぬ	2	破風と共に
3	物語	3	物語
4	夜と夜の物語	4	ララエル
5	物語	5	ミラノの死
6	人伝説	6	大正の死
7	和歌	7	アーヴィングの死
8	里草と闘争	8	死川輪房の死
9	春と秋	9	アーヴィングの死
10	物語	10	アーヴィングの死
11	十田の信	11	アーヴィングの死
12	四月の雪	12	アーヴィングの死
13	のめと	13	アーヴィングの死
14	のめと	14	アーヴィングの死
15	のめと	15	アーヴィングの死
16	のめと	16	アーヴィングの死

感銘を受けた、書名、著者名
第1集（昭和41年発行）



六花表紙 第15集（昭和55年発行）

第十一回 東京勝高会

平成26年5月17日（土）新宿ワシントンホテルにて「第11回東京勝高会」

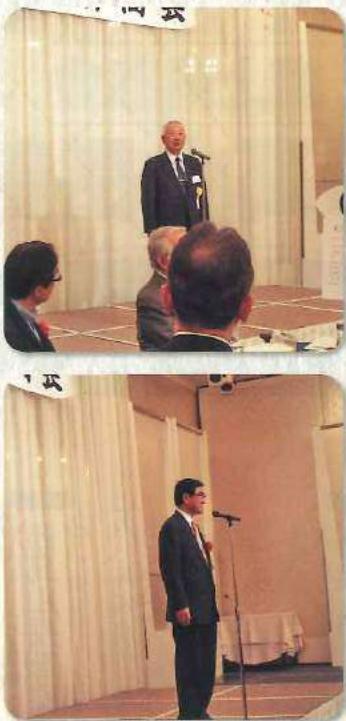
が開催されました。勝高同窓会本部（勝山）からは、阿部会長、白木副会長、山岸副会長が出席させていただきました。100名近い参加があり、山岸正裕勝

山市長や阿部会長の挨拶など、終始和やかに進められていきました。東京在住ではあるけれど、皆さん勝山出身といふことで、「あい、○○さんの弟さんですか！」とか「○○さんのおねえさん」など、今勝山にいらっしゃる方とつながっていくので、遠いけど近い感じがあり不思議な気分でした。

最後は勝山高校の校歌を出席者全員で合唱し、幕を閉じたのです。

出席者の中には、30回卒業以降の方が5人来ておられ、「初めて出席したけれど、楽しい。これからも出席する」と頼もしいことを話してくださいました。

今後、東京勝高会がますます発展されることをお祈りし、勝山本部も盛り上げていかなければならぬなと思いました。



中村 敏子（10回卒）

東京勝高会には、毎回出席しています。久しぶりの方に会えることが嬉しいです。勝山に帰ると、電車の中から見える景色は山水画そのもので特に白山はきれいだった印象があります。人口が減っていると聞きましたが、増えてほしいです。今後の勝山市に期待しています。



山岸 知幸（35回卒）

高校時代は柔道部に所属していて、良い思い出となっています。今も、柔道部でのつながりがあって楽しいです。東京勝高会には初めて出席しましたが、楽しくていいですね。出席者の名前に「山岸」が多いのにはびっくりしました。恐竜博物館の人気にも驚いています。これからも出席したいし、この会が千代に八千代に続くことを願っています。

インタビューしました

第八十七回 関西勝山会開催



関西勝山会がこんなに盛り上がっているので、関西勝山会が再び開催されることを願わずにいるかもしれませんでした。関西にお住まいの勝山高校出身の皆様、どうぞよろしくお願いします。

若い皆様（自称）は若い方が理事になつてくださり活躍されております。どうかお願いします。若い皆様（自称）是非お手伝いをお願いします。

また、懇親会の席におきましては、皆様から協力金を出身校関係なくいただきましたことありがとうございました。本当にありがとうございます。懇親会は、水澤芳夫氏の司会で進められ、久しぶりに再会する皆様の笑顔をあちらこちらで見ることができました。笑い声も絶えず、懐かしい話で盛り上がっている様子は、「勝山」というつながり、「故郷」っていいなあといました。

関西勝山会がこんなに盛り上がっているので、関西勝山会が再び開催されることを願わずにいるかもしれませんでした。関西にお住まいの勝山高校出身の皆様、どうぞよろしくお願いします。

東京勝山会総会のご案内

日 時：平成26年10月18日（土）昼12時～
場 所：銀座ライオン（昨年と同じ場所）
連絡先：東京勝山会 事務局
山岸 紘憲 ☎090-5520-7352

関西勝山会総会のご案内

日 時：平成26年11月9日（日）午前11時～
場 所：太閤園（昨年と同じ場所）
連絡先：関西勝山会 事務局（高井会計事務所内）
高井 征夫 ☎06-6261-2006



手前左から、山内さん、中村先生、澤さん、岸さん
後列左から、江守さん、榎家さん、斎藤さん、川嶋さん

<出席者>
山内千鶴代（S55年卒）
岸 康弘（S57年卒）
江守 恒彦（S58年卒）
澤 珠水（S59年卒）
川嶋 正己（S60年卒）
斎藤 千城（S60年卒）
榎家淳一郎（S60年卒）
中村誠一郎先生



勝高山岳部での思い出

山内 高体連は一年生から三年生まで全員参加でしたが、その年に長野の高体連で雷が落ちる事故があつて、ピリピリしていた記憶があります。私達がちょうど別山に登った時も、目の前でビシリと雷が落ちて怖かったです。

岸 当時、山岳部は、勝山、三国、藤島、武生、高志、大野工業にあつたと思うけど。



川嶋 キャンプファイヤーも山岳部でよくやつたよな。
榎家 山岳部では、地点確認、植物観察、天気図の勉強もした。以前は気圧の単位はミリバールだったけど、今はヘクトパスカルだよね。

斎藤 緯度や経度も調べたよな。
澤 新人歓迎登山があつて、雪で道に迷つた記憶がある。ゴミ袋で作つたサラダなんかも思い出があります。

岸 古い部室やつたな。
中村 S60年卒の学年は、部員が多くつたなあ。

榎家 そうなんだよね。他の部活は一生懸命練習してるので、山岳部は部室で火焚いてラーメン作つたり寝袋干したり、寝袋でボクシングしていたりで、樂しそうに見えたので入部したところも

あつたけど。

斎藤 中学校には山岳部がないからみんな一からのスタートやで入りやすかつた。それに、先輩から一人暮らしの準備になることを聞いて、いずれ役に立つかなと思ったもんな。

川嶋 入部の勧誘で、先輩がつくしご飯を部室で作ってくれたな。でも親は遭難が心配で反対したけど。

山内 他の部活は先輩後輩の関係が厳しかつたけど、山岳部はみんな仲良くて家族みたいやつたね。

榎家 それでも山登つてるとときは、水は先輩から飲んでたよ。

川嶋 一口しか飲めんかったな。
澤 そういうえば、

登山の休憩の時も先輩から「絶対に座るな」とつて言われたよね。

山内 昔は、水を飲むとばてるって言われてたもん。

榎家 そんな当時の先輩たちだけど、成績がよくって、全国でもトップレベルの成績を残していたよね。

山内 毎年のように優秀校になつて、国体や高校総体に行つたもんね。

澤 北海道に行つた人もいたよね。

斎藤 ところで、なぜ中村先生は山岳部の顧問になつたんですか。

中村 山頂から見た景色が忘れられんかった。山登りは嫌いじゃなかつたんだけど、一つ気になったのは、装備にお金がかかるよと言われたことかな。

岸 装備つてえは、荷物が重くて腰がきかんかつたわ。

山内 女子でも、テントを担ぐと20キロ

を超える重さで、上りとかはきつかつたね。

岸 3年生は、一日目の食糧を荷物として運んだから、一番初めにザックが軽くなるんだけど、後輩に悪いもんで重そうなるふりをしてたな。ばれてたのも知らずにな。

澤 勝山高校は、テント立てるのうまかったよね。

中村 そうそう、インターハイ大阪大会でフライシートを忘れて来て、ひどい目にあつたことがあった。早く気づいたら取りに帰れただけど、あれも思い出深いな。

澤 山岳部の顧問はずつと男の先生だったよね。大会の時には、規則で顧問の先生も同じテントで寝んとあかんかった。5人が川の字になつて寝たけど、疲れてるから爆睡したわ。

江守 そのとおり先生いくつだつたんですけど。

中村 26の時やつたかなあ。

澤 登山中、「足元注意」つて前からスマズな伝達があつたけど、仲が良くて困ったけどね。

中村 登山中、「足元注意」つて前からスマズな伝達があつたからだと思う。それと、後どれ位か聞くと「あと5分」どこまで行つても「あと5分」っていうことがよくあつたな。

澤 山ですね違う人に「勝山高校つてい名前やね」つて言われたのが記憶にあるな。だって、「山に勝つ」やもんな。

「君らの高校は強くなるね」とも言われたな。

江守

引退した先輩方が僕らの北アルプス遠征に来てくれるのも結構あつたな。

樹家 そう、ずっと上の先輩でもそれまでに伝説を聞いてたから、その時に初めて会う気がしなかったよね。

山内 その時の先輩がまたかっこよく見えたんやつて。

澤 山岳部は、卒業して何年たつても

そうやって山で会うこ

とができるのが良いのかも。他の部は、せいぜい1年ほどしか顔出してないと思う。

川嶋 横定道 マラソンに出てるよ。

齊藤 江守さんも出てるよ。



かつこいい。

澤 そもそも、卒業後に山登った?

岸 近場の山で、せいぜい大師山だったかな。(笑)

齊藤 現役時代には走って登つたけどな。

山内 今は到底無理やな。

山内 今現役でもしっかり登つてるのは誰かな。

川嶋 横定道 マラソンに出てるよ。

齊藤 江守さんも出てるよ。



澤 今の子は、水が貴重という感覚はないかもね。山では水は貴重やもん。

岸 飲むのでさえ、制限されたもん。

澤 「なんか浮いてるよ」と言いながらも飲んだよね。

岸 そやけど、山で病気にならんかった。ま一人いたけど。。。

澤 当時の山岳部は、山へ行かない時は、みんなでレクレーションしたり、他の部にお邪魔したり、スカッショウをしたりもして楽しかったな。

樹家 煙を耕して野菜も作つたね。

江守 山岳部の部室つて、奥の方の弓道部、ESSや演劇部との並びで古くて暗い廊下の奥にあった。そこで授業サポートてるやつも見かけたな。

川嶋 でも、当時のしおりを見ると、みんな山行の前は、真面目にしっかりと、行程や標高の分かる断面図、天気図、国土地理院の地図に山頂から見える山も書いて作ったから、今も当時の経験で山に登れるよね。

岸 しおりの他にも歌の本を持って行ったな。

齊藤 道中に、歌を歌わなあかんで、明星とか平凡のソングブックを持つて行ったもんな。

山内 11月の最終登山で、雁が原の第3リフトまで登つた時もみんなで一緒に歌つた覚えがあるよ。

澤 山は毎回辛かつたはずやのに、楽しいこととか面白いことしか思い出されんね。

岸 リーダーで一番先頭歩くと、二番目は1年生の女子つて決まつていたんで、すぐ後ろを歩いて辛かつたことがあるんやつて。おならできんかったやろ。それが一番つらかつたわ。

岸 山岳部出身で今も山とつながりのある仕事をしている人がいるよね。地質の研究している人とか、山岳救助に関わっていたりとか。

齊藤 リーダーで一番先頭歩くと、二番

目は1年生の女子つて決まつていたんで、すぐ後ろを歩いて辛かつたことがあるんやつて。おならできんかったやろ。それが一番つらかつたわ。

岸 山岳部出身で今も山とつながりのある仕事をしている人がいるよね。地質の研究している人とか、山岳救助に関わっていたりとか。

山登りはしてるか

齊藤 最近、登つてますか?

澤 西山公園登つて辛かつた。(笑)

岸 GWにバンビライン登ろうと思つて登り口まで行つたけど、急坂を見てやばいなと思つて引き返してきました。(笑)

川嶋 白山へよく行つてるけど、今は、装備とか服装も高校時代と比べて様変わりしてるな。

齊藤 今はやりの山ガールだな。

岸 昔ならば、山女やな。

川嶋 ここ2年位、白山なんか凄いよ。

樹家 ファッションの一部になつてるから装備なんかも、機能性と見た目の両方で洗練されてるよね。

岸 たとえば、昔はリュックも横長でバランスもとりにくくてダサかつたけど、今は、縦長で扱いやすいし、見た目も

江守 数日お風呂は入れんし、歯磨きもで

きんと話すと「やめます」となる。最近は、インター

ハイでもお風呂に入るけど。

中村 歯を磨かんでも、気にならなかつたけどどな。

澤 今が山ガールと山女の違いかな。



山内 11月の最終登山で、雁が原の第3リフトまで登つた時もみんなで一緒に歌つた覚えがあるよ。

澤 山は毎回辛かつたはずやのに、楽しいこととか面白いことしか思い出されんね。

岸 リーダーで一番先頭歩くと、二番

目は1年生の女子つて決まつていたんで、すぐ後ろを歩いて辛かつたことがあるんやつて。おならできんかったやろ。それが一番つらかつたわ。

岸 山岳部出身で今も山とつながりのある仕事をしている人がいるよね。地質の研究している人とか、山岳救助に関わっていたりとか。

次回OB会は

川嶋 10年前

に、ゲームで

負けたものが次回の幹事をするつ

て決めて、そ

のままなんで、また復活させたいね。

白山でやるのはどうかな。

樹家 近いうちにやろう。どこでやるにしてもみんな集まつてほしいです。今日はありがとうございました。



今回の紙上同窓会はいかがでしたか。広報委員会では、次回の紙上同窓会メンバーを募集します。部活動やクラスなどご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

平成26年度 大同窓会総会

次世代へ繋ぐ

勝山高等学校同窓会 会長 阿 部 光 郎

(第二十二回 昭和四十五年卒)

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝でご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。

又、日頃より母校の発展に対しご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般開催されました平成二十六年度大同窓会総会において役員改選が行われ、新たに三十代三名、四十年代三名の若い世代の理事役員を迎える事ができました。特に、同窓会設立後六十数年が経過し、この歴史と伝統ある同窓会を維持・継続し我々の次の世代に引き継ぐ事が必要であります。しかし、時代の変化と共に、同窓会活動も大きく変わろうとしています。その為にも、今後は若い世代のエネルギッシュな考えを取り入れ、大いに意見交換し、最良の運営を目指す事が大切です。そして、本来の目的である会員相互の交流と親睦を厚くし、若い方の同窓会活動への参加を呼びかけ、さらに活動になるようになると願っております。

同窓会役員一同



同窓会役員一同
阿部 光郎 45
木下 克則 51
山岸 登美子 55
白木 利明 56
竹内 登 50
荒井由紀夫 45
木下 朋美 61
永井 正美 50
中山 弘之 51
大道 真知子 51
大道 慎治 54
森石 義浩 H元
三屋 久美 H2
坂 峰太郎 H4
小山 康之 H6
柳原 直人 H8
鈴木先生
松田先生
松村 龍二
山岸 正裕
小泉信太郎
道下 賢祐

勝山高等学校同窓会役員

役 職	氏 名	卒業年度
会 長	阿部 光郎	45
副 会 長	木下 克則	51
〃	山岸 登美子	55
〃	白木 利明	56
会 計	竹内 登	50
会計監査	荒井由紀夫	45
〃	木下 朋美	61
常任理事	永井 正美	50
〃	中山 弘之	51
〃	大道 真知子	51
〃	大道 慎治	54
〃	森石 義浩	H元
〃	三屋 久美	H2
〃	坂 峰太郎	H4
〃	小山 康之	H6
〃	柳原 直人	H8
監事・事務局	鈴木先生	
〃	松田先生	
顧 問	松村 龍二	
〃	山岸 正裕	
〃	小泉信太郎	
〃	道下 賢祐	

平成25年度決算報告

項 目	平成25年度決算
1. 収入	
前年度繰越金	3,454,560
入会費	730,000
同窓会会報協力金	1,195,000
雑入（発送業務委託費）	10,000
銀行受取利子	688
合 計	5,390,248



項 目	平成25年度決算
2. 支出	
同窓会報	
宛名シール	30,870
宛名ラベル印刷	21,000
会報・協力金チラシ印刷	567,525
発送作業業務委託費	50,000
郵送料	643,568
同窓会会報誌座談会経費	25,900
小 計	1,338,863
同窓会システム機能追加	525,000
同窓会名簿更新作業	115,238
卒業証書筒	43,691
寄付金（勝高）	200,000
事務委託	130,000
大同窓会事務費	66,626
払込手数料	36,090
事務局事務費・事務消耗品費	59,487
雑 費	84,572
合 計	2,599,567

勝高同窓会は部活動の援助として本年度も勝山高校に対して金20万円を寄付させていただきました。



7月7日 勝山高校訪問時に校長室にて
金20万円が手渡されました

さる平成26年7月7日に、阿部会長、木下副会長は勝山高校を訪問し、勝山高校に対し金20万円を寄付させて頂きました。

この事業は今年で5回目を迎えました。これも、ひとえに会員皆様から頂いております「会報協力金」のおかげであり、今後も勝山高校の更なる活躍に期待し、この事業を通して協力してまいりますので、皆様方よりのご支援を宜しくお願い申し上げます。

「声優として」

石塚 運昇（第22回 昭和45年卒業）



「ウンショウ、お前声がいいからナレーションやってみたらどうだ?」「ナレーションって何ですか?」「テレビコマーシャルのうしろで喋る人のことだよ」「へえ、そんな職業があるんだ?」

32歳の時、当時バイトを

していた居酒屋でCM監督さんが私にアドバイスしてくれた事が、声優へのキッカケでした。「声の仕事かあ!」アルバイトの収入しかない私は役者に関係する仕事なら何でもやりたいと、その監督さんに教えを乞いました。あるプロダクションのマネージャーさんを通して「ボイスサンプル」作り。何を録音していいかわからず、舞台俳優だった私は「リア王」の「エドマンド」役をそのまま録音しました。持参すると「瘦せた、ギスギスした男性のイメージだね」と言われ、声の表現つて面白いなと感じました。初めてスタジオに入った時、共演した役者兼ディレクターから、アニメのナレーションの仕事を頂きました。それがデビューアニメ「巨神（ジャイアント）ゴーグ」でした。同時に「マツダルーチェ」のCM。舞台経験しかない私はマイクに向かって喋る感覚が分からず四苦八苦しましたが、度胸だけで乗り切ったように見えています。その後外画の吹き替えにも挑戦。当時は前日にリハーサルビデオを出演者全員で見て、次の日本番。舞台では1か月から

1か月半くらい稽古をして本番を迎えますが、声の世界はスピーディーでした。私は本当に下手くそでした。口パク（口の開け閉め）

プレス（呼吸のやり方）滑舌、アクセントすべてが駄目でした。「この世界で生きていく能力、才能がないんだ…」しかし、使い続けてくれるディレクターとプロデューサーの方々がいました。そして何年もやっていくうちに、芝居を中心と考えていくと、自然と口の動きに合つてくるものだと分かつてきましたのです。口、あるいは唇をリラックスさせると、いかに明確に喋ることが出来るか。30年たった今、ようやくマイクの前で喋ることの面白さが分かつてきました。人前で演じる喜びを最初に感じたのは、勝校の予選会でした。私が芝居を始めるキッカケはこの行事で



した。今、「ポケットモンスター」でオーキド博士やナレーションを演じながら、テレビに釘付けになつて子供たちのキャラキャラした目を常に感じながら、仕事としてだけではない、作品の面白さを伝える喜びを感じながら、日々、声優の道を歩み続けています

平成26年度 大同窓会

平成26年8月16日(土)



実行委員長
三屋晃二
(第39回 昭和62年卒)



スキー部、陸上部などスポーツ部も活動が盛んです。

昨年史上最年少で日本人初のヨネックスオーブンジャパンに優勝した山口茜選手、クロスカントリースキー日本代表の宇田崇二選手、バイアスロン日本代表の石井翔子選手など、世界羽ばたくトップアスリートをたくさん輩出しています。選手を物心両面から支援する「世界に羽ばたく

日本代表の宇田崇二選手、バイアスロン日本代表の石井翔子選手など、世界羽ばたくトップアスリートをたくさん輩出しています。選手を物心両面から支援する「世界に羽ばたく

